

売れる商品戦略コーディネート支援事業運営業務企画提案に係る質問への回答

令和7年4月17日 宮城県農政部食産業振興課

No.	質問内容	質問への回答
1	支援対象事業者となる、食料品製造業者の情報を教えて頂きたいです。 ・分野（肉製造、水産食料品などの業種でいう小分類が何社ずつあるか） ・規模（売上規模、従業員数など） ・販路（主にどの販路の割合が多いかなど） 上記、個別にお教えいただけるのがあると思いますが、不可でございましたら、項目ごとに、●●が、●社や●割などの回答でも結構でございます。	現時点では支援対象事業者は決定していないため、宮城県内全ての食料品製造業者【694事業所（令和4年実績値）】が支援対象事業者となり得ます。 産業細分類別の事業所数・従業員数・製造品出荷額等については下記のURLから、2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）「地域別」統計表データのうち、第6表をご参照ください。 https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kkj/seizo_result.html なお、各事業者の販路については多岐にわたり、様々な支援対象事業者に対応いただくことを想定しています。
2	戦略アドバイザーを外部選任する際の、上限人数などがありますでしょうか。	人数に上限はありません。
3	戦略強化支援事業に移行する事業者は（1）の講義及び相談会に参加している事業者から選定するのか。	戦略強化支援事業の支援対象事業者は、売れる商品戦略交流会及び個別相談会とは別に発注者が募集を行うため、交流会及び個別相談会への参加の有無に関わらず、申込みがあった事業者全てが選定対象となります。
4	プログラムは①②のいずれか一つを事業者を選択させるのか。また、どのタイミングで意向を確認するのか。	戦略強化支援事業は、発注者が募集を行い、事業者から取り組みたいプログラムへの申込みを受けますので、申込書で意向を確認するとともに申込事業者へのヒアリング内容に基づき支援効果等を鑑みながら支援対象事業者を選定します。 1事業者が部門・担当者別等で2つのプログラムに申し込むことも想定され、いずれかひ1つのプログラムに限定するものではありません。

5	テストマーケティングを実施する場合の費用（出店費用等）は事業者負担となるのか。もしくは県の別事業の案内を行うのか。	テストマーケティングを実施する際に係る費用は全て事業者負担となります。ただし、支援対象事業者は本事業運営の中で別途発注者が実施する戦略強化支援事業費補助金を活用することができ、戦略強化アドバイザーの助言・指導に基づく活動経費（会場使用料、出展費用、紹介資料作成費等）の一部補助を受けながら活動をしていただくことを想定しています。 なお、戦略強化支援事業費補助金の補助率及び補助上限額は以下のとおりです。 ・ 補助率：2分の1以内 ・ 補助上限：500千円
6	戦略コーディネーターの要件として「受注者の事業所内に所属する者」とありますが、テレワーク主体の組織の場合など、所属の定義について確認させてください。（仕様書 3（1）ハ）	受注者の組織内に所属する者を要件としますので、テレワーク主体であっても、受注者の組織に所属する者であれば要件を満たします。
7	戦略強化アドバイザーを外部から選定する場合、具体的な選定基準や県との事前協議・承認プロセスについて教えてください。（仕様書 3（2）ロ）	選定基準及び発注者への事前協議による承認といった選定プロセスは設けていません。 支援対象事業者の課題に応じて、具体的かつ実践的な指導・助言のできる者を都度選定し、戦略強化アドバイザーとして配置してください。
8	「令和 7 年度売れる戦略講座開催業務」など、他の関連事業との具体的な連携方法（情報共有、役割分担、合同でのイベント開催等）について、現時点で想定されていることはありますか？	本業務と令和 7 年度売れる戦略講座開催業務等の他の事業において、情報共有、役割分担、合同でのイベント開催等の事業間での連携は想定していません。